
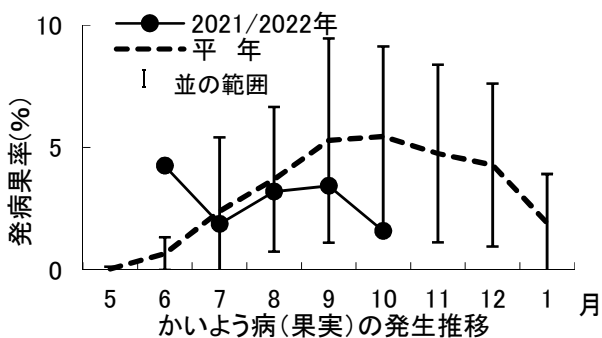


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	並	
予報	10 月からの増減傾向	↘	
	11 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	

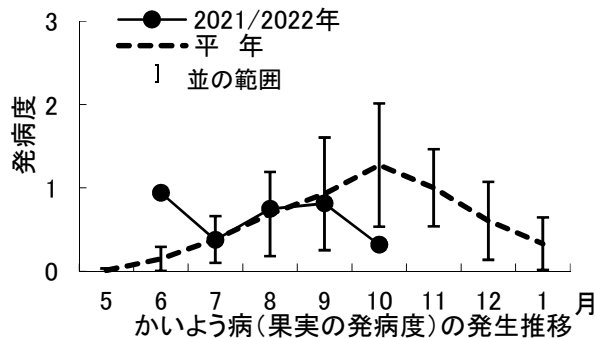
調査結果

発病果率・平均値

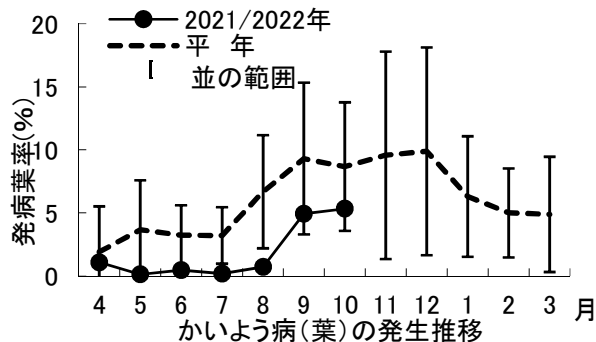


・ 発生ほ場率 : 80.0% (平年78.0%)

果実の発病度・平均値

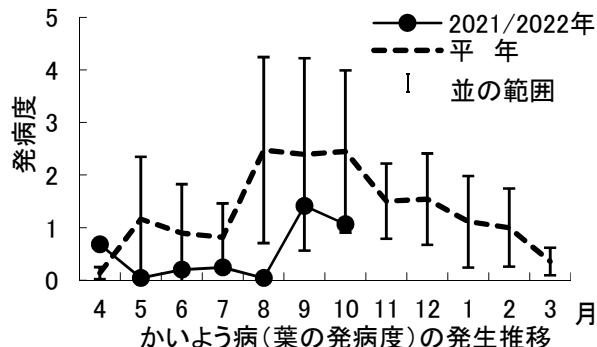


発病葉率・平均値



・ 発生ほ場率 : 60.0% (平年85.7%)

葉の発病度・平均値




防除のポイント

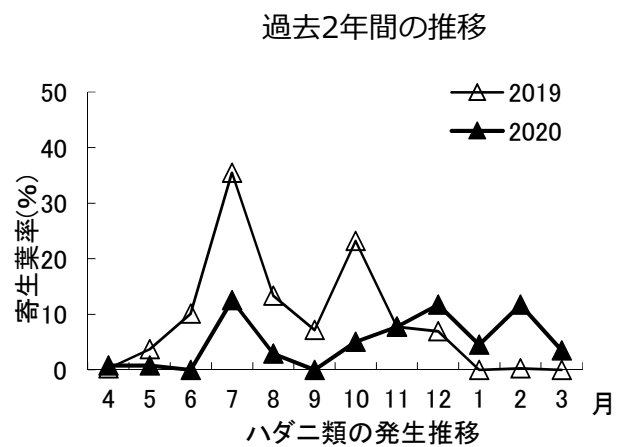
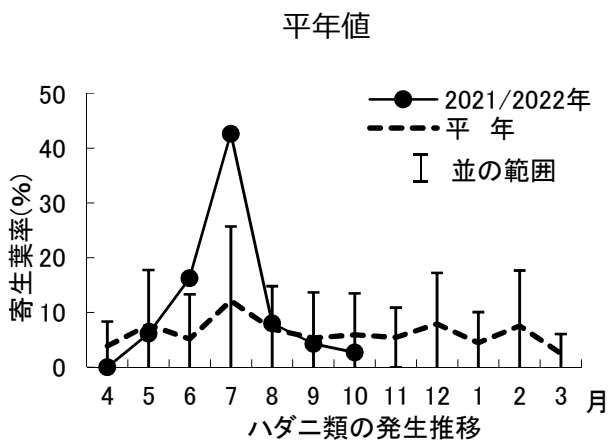
- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。



被害葉→

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② ハダニ類		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	並	
予報	10 月からの増減傾向	→	
	11 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→) 今後 1 か月の降水量が平年並の見込み	

調査結果



・ 発生ほ場率 : 40.0% (平年 : 35.7%)

防除のポイント

・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状